

2013年度 決算概要説明

2014年5月15日
カルソニックカンセイ株式会社
取締役社長兼CEO 森谷 弘史



13年度 決算概況 <12ヶ月累計>

(億円)

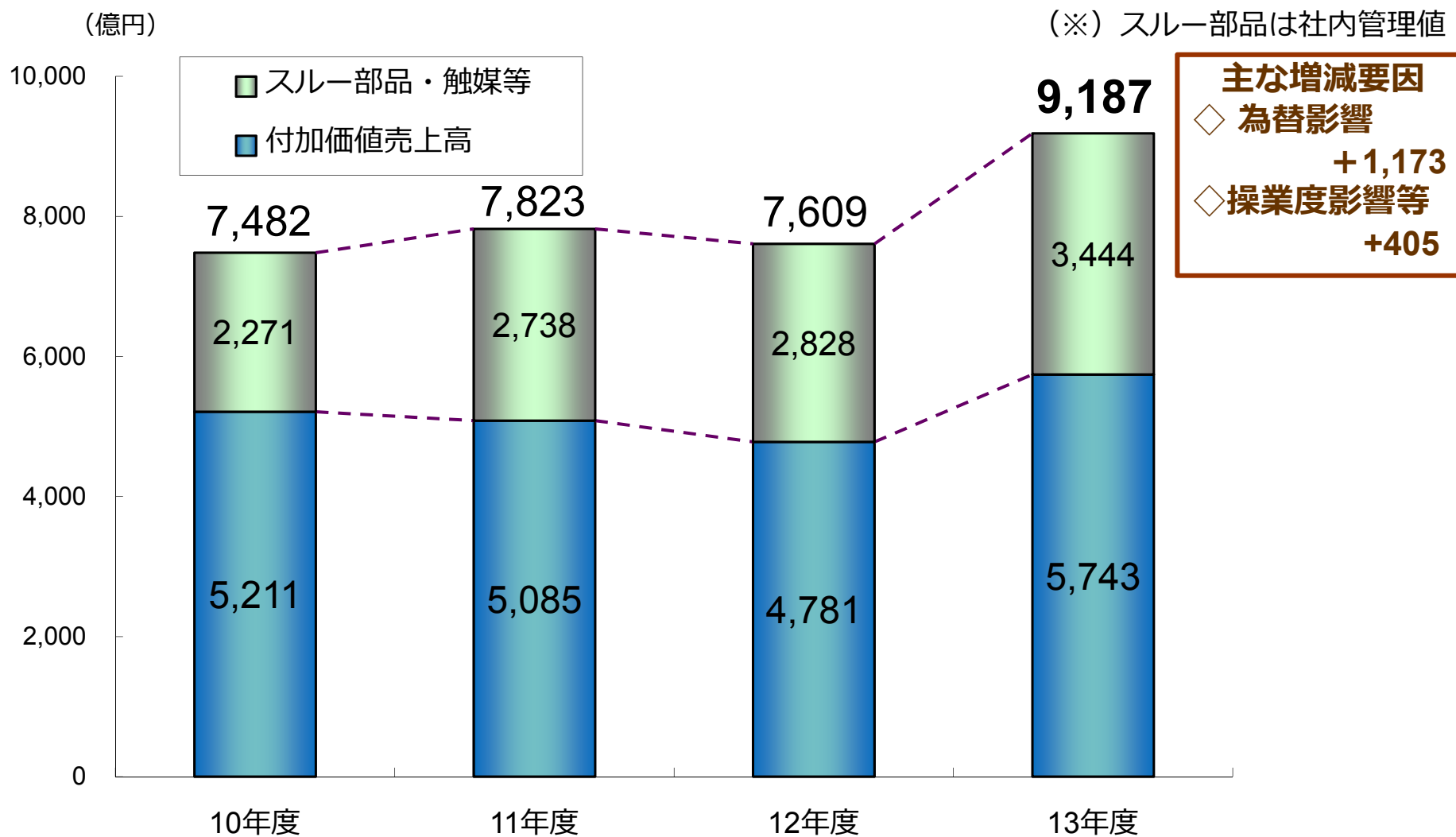
	12年度実績 (A) (12/4~13/3)	13年度実績 (B) (13/4~14/3)	増減 (B) - (A)
売上高 (付加価値売上高)	7,609 (4,781)	9,187 (5,743)	+1,578 (+962)
営業利益 ※ (営業利益率)	98 (2.0%)	288 (5.0%)	+190 -
経常利益 ※ (経常利益率)	128 (2.7%)	295 (5.1%)	+167 -
当期純利益 ※ (当期純利益率)	55 (1.2%)	250 (4.4%)	+195 -

※利益率は付加価値売上高をもとに算出 (注) 会計制度の変更により前年度の数字は遡及して修正しております

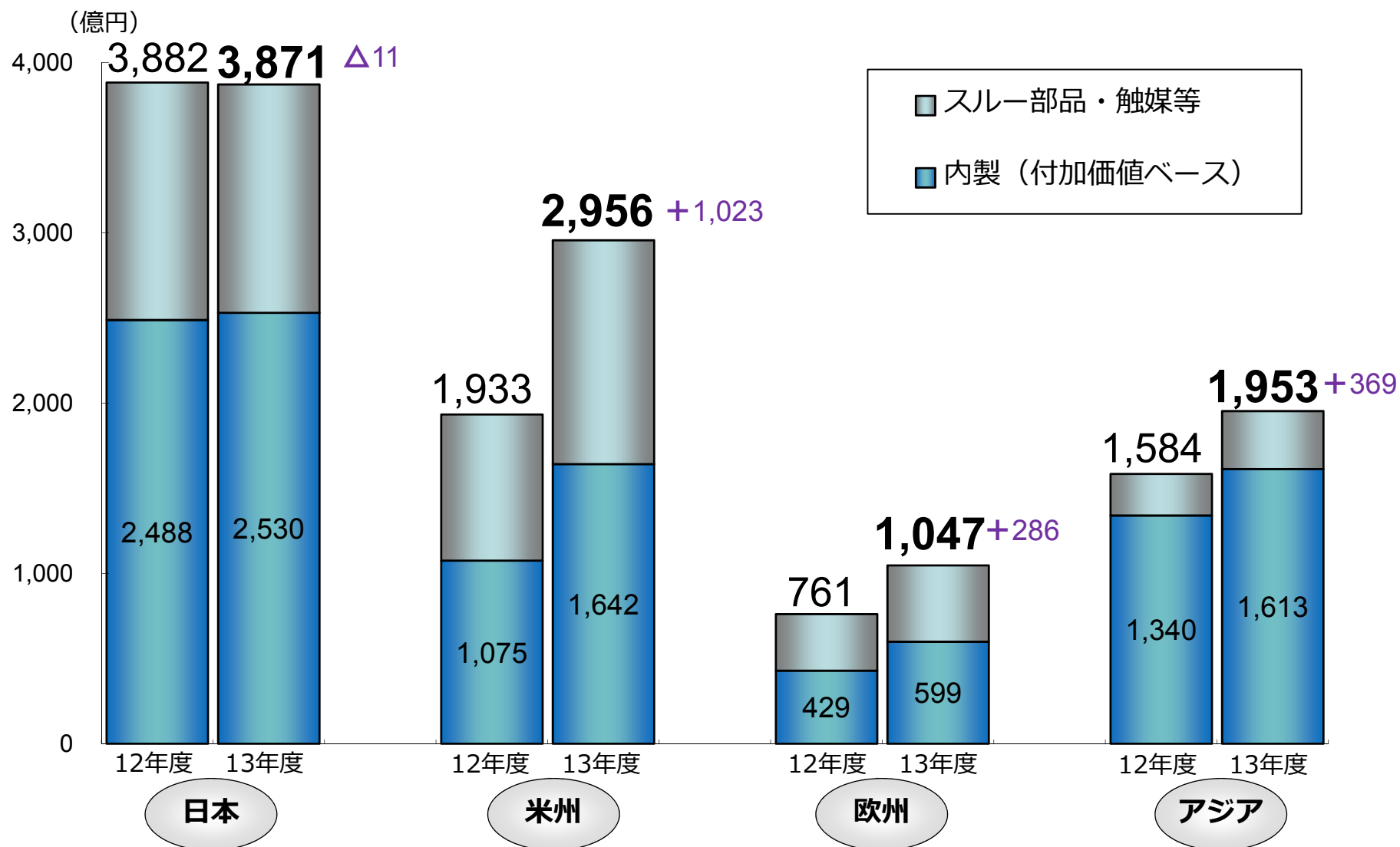
為替レート	ドル	82.9	100.2	+17.3
	ユーロ	106.8	134.2	+27.4

対前年比で大幅な増収増益、過去最高益を達成

売上高推移 <10年度～13年度>

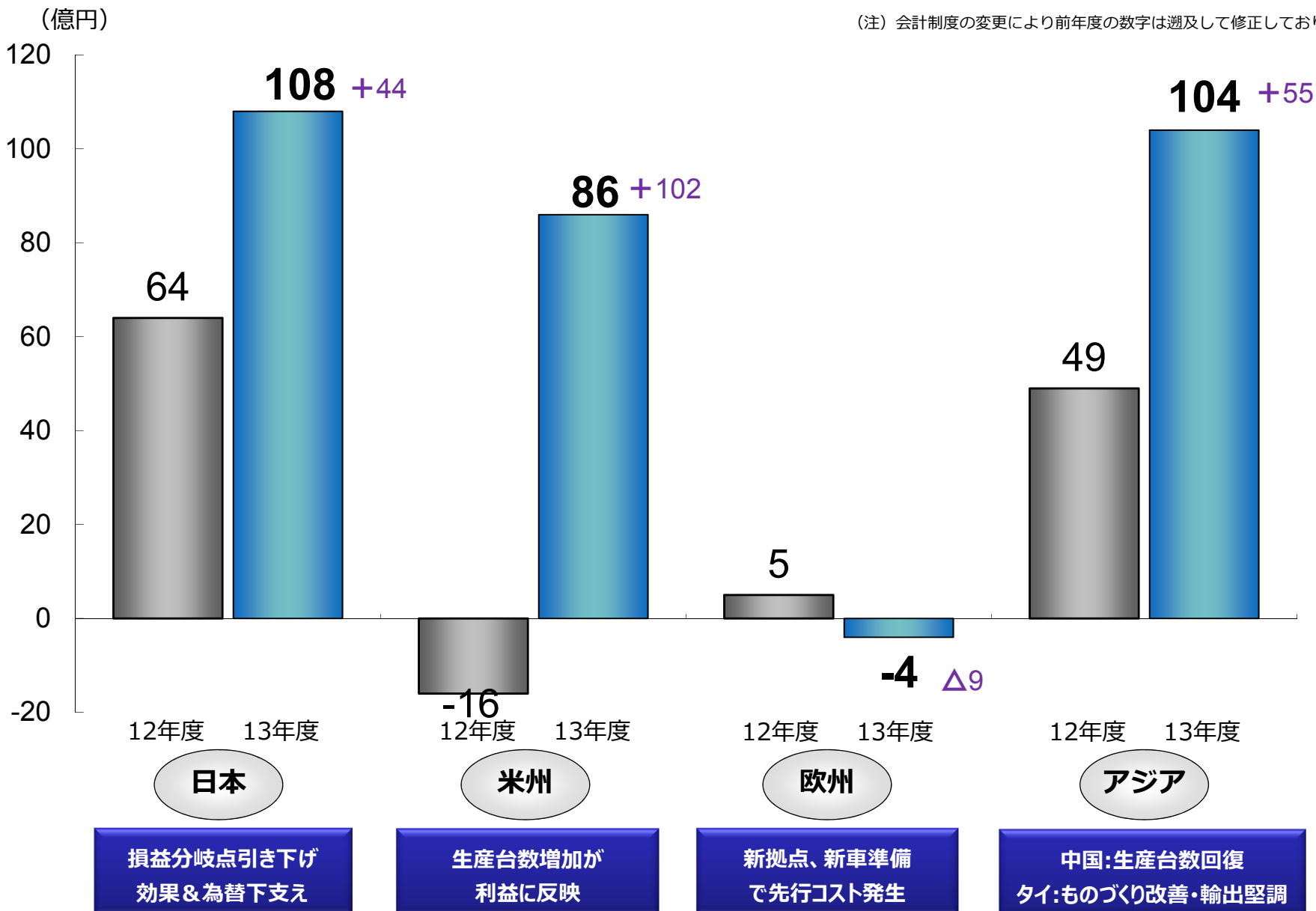


売上高推移 <地域別>

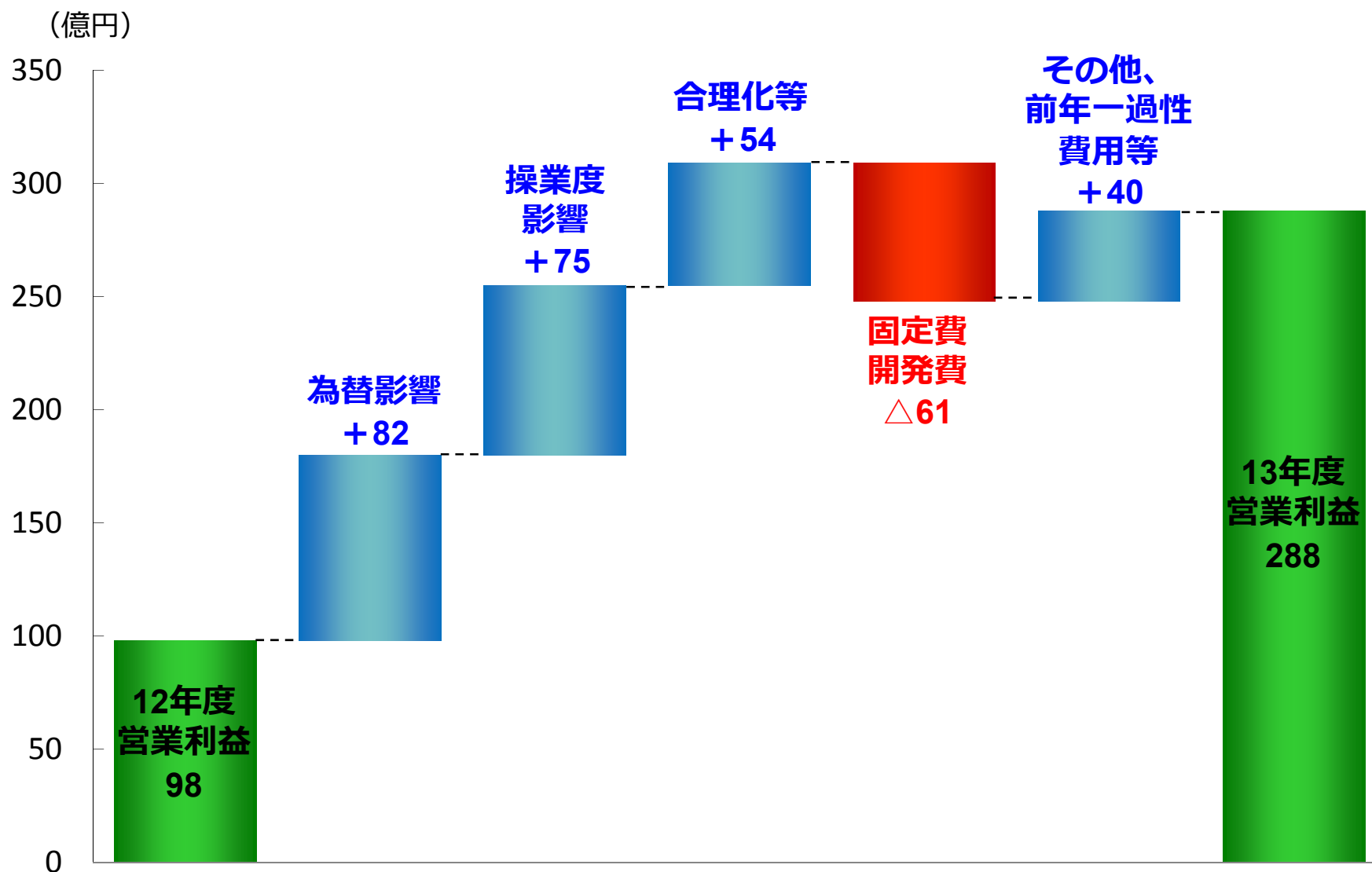


海外で生産台数が増加。ものづくりプロセスの徹底により新車立上げが順調

営業利益推移 <地域別>



営業利益 増減要因 <12年度-13年度>



(注) 会計制度の変更により前年度の数字は遡及して修正しております

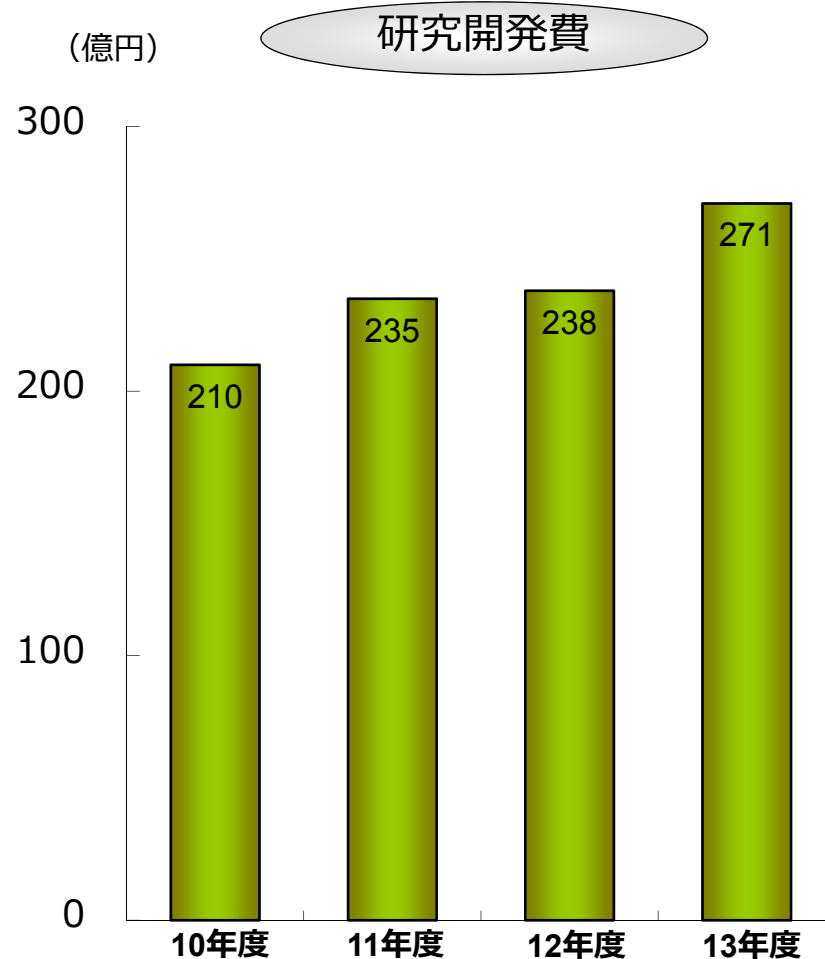
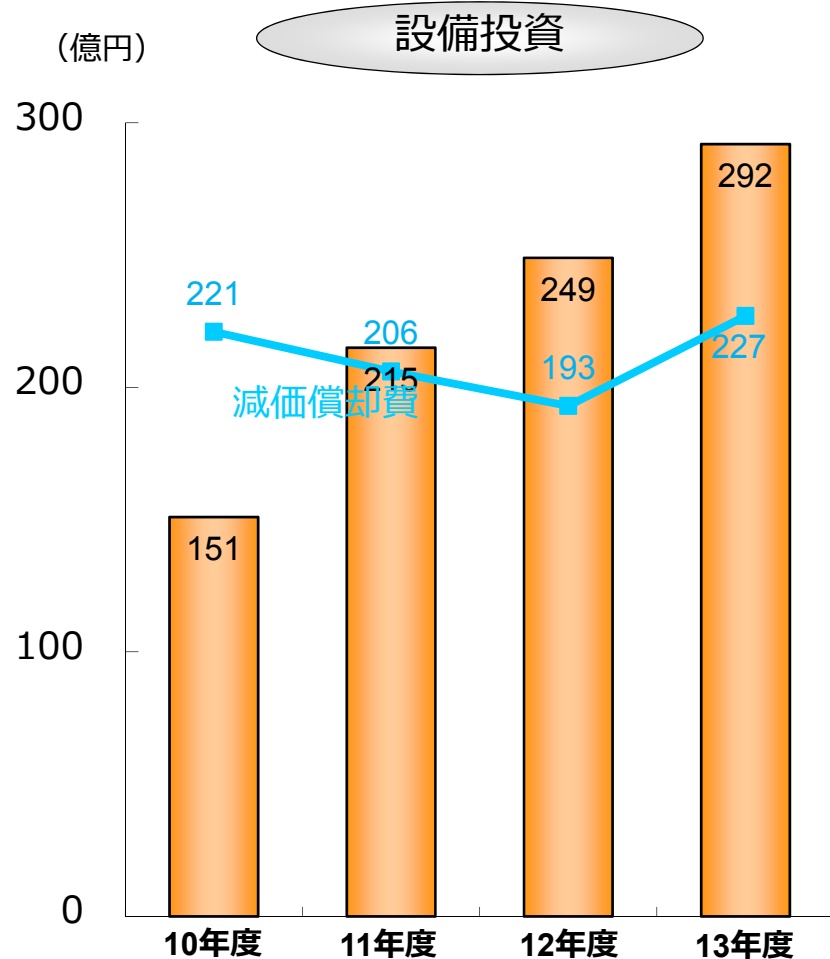
経常利益、当期利益 <12ヶ月累計>

	12年度 実績	13年度 実績	主な内容 (13年度 実績)
営業利益	98	288	
営業外損益	30	7	為替差損益 +37 デリバティブ損益 △22
経常利益	128	295	
特別損益	△15	△7	
税引前利益	113	288	
税金等	△58	△38	法人税等 △35
当期純利益	55	250	

(注) 会計制度の変更により前年度の数字は遡及して修正しております

営業利益の大幅増に加え、繰延税金資産の見直しにより当期純利益が増加

設備投資、減価償却費、研究開発費 <12ヶ月累計>



売上高比率 (付加価値売上高)

2.9% 4.2% 5.2% 5.1%

売上高比率 (付加価値売上高)

4.0% 4.6% 5.0% 4.7%

2014年度 見通し

国内生産台数減少

- 国内生産台数減少を見込むものの、損益分岐点引き下げにより収益を確保

新興国マーケット減速

- 中期的なマーケットの成長を取り込むために、新興国のビジネス基盤を整備

為替効果一巡

- 国内－海外でバランスのとれた収益構造を確立し、為替対応力を強化

国内の状況が厳しいなか、全体では増益を確保する見通し

2014年度 業績予想

(億円)

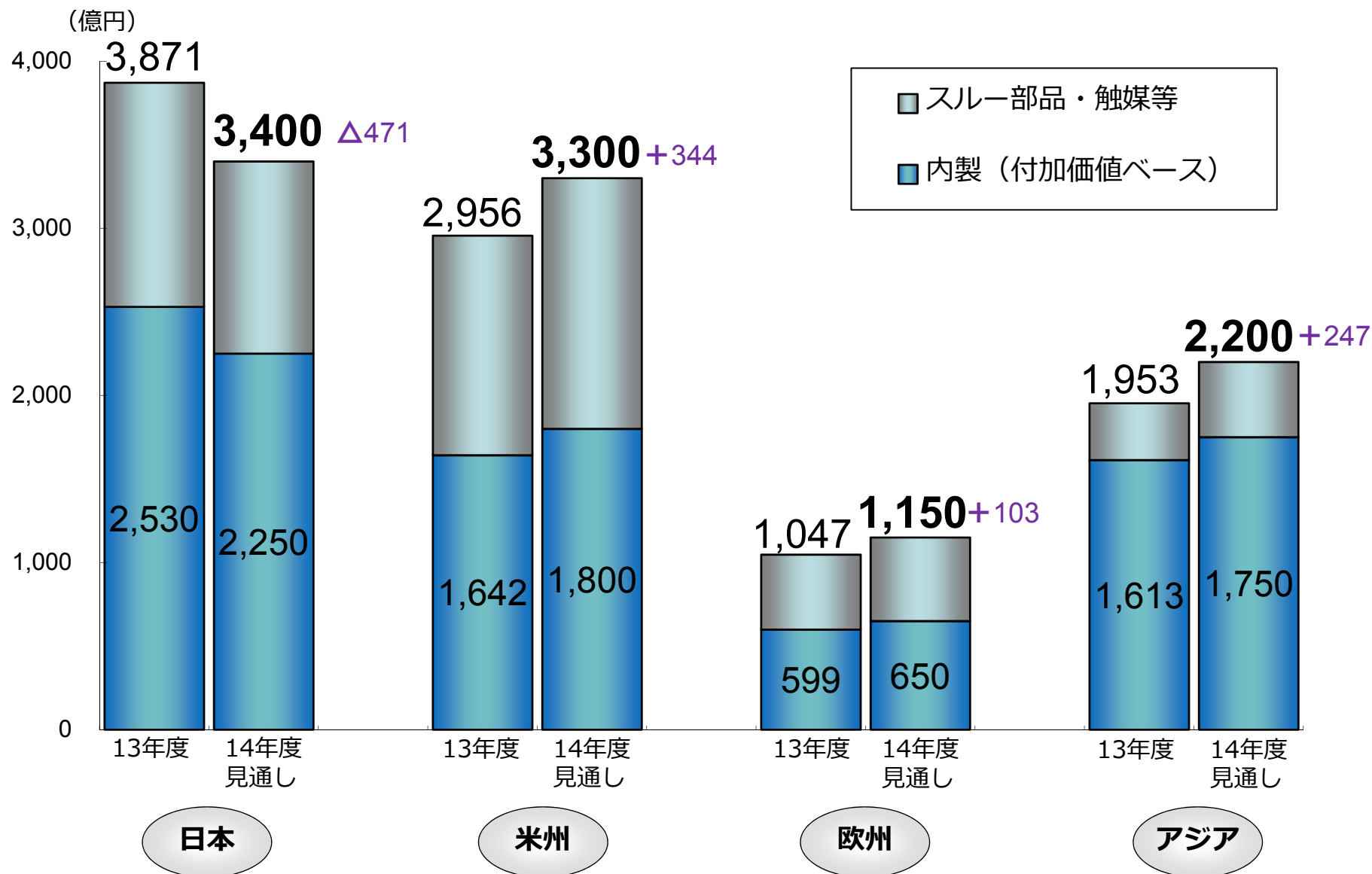
	13年度実績 (13/04~14/03)	14年度予想 (A) (14/03~15/04)	増減 (B) - (A)
売上高 (付加価値売上高)	9,187 (5,743)	9,400 (5,800)	+213 (+57)
営業利益 ※ (営業利益率)	288 (5.0%)	300 (5.2%)	+12 -
経常利益 ※ (経常利益率)	295 (5.1%)	290 (5.0%)	△5 -
当期純利益 ※ (当期純利益率)	250 (4.4%)	200 (3.4%)	△50 -

※利益率は付加価値売上高をもとに算出

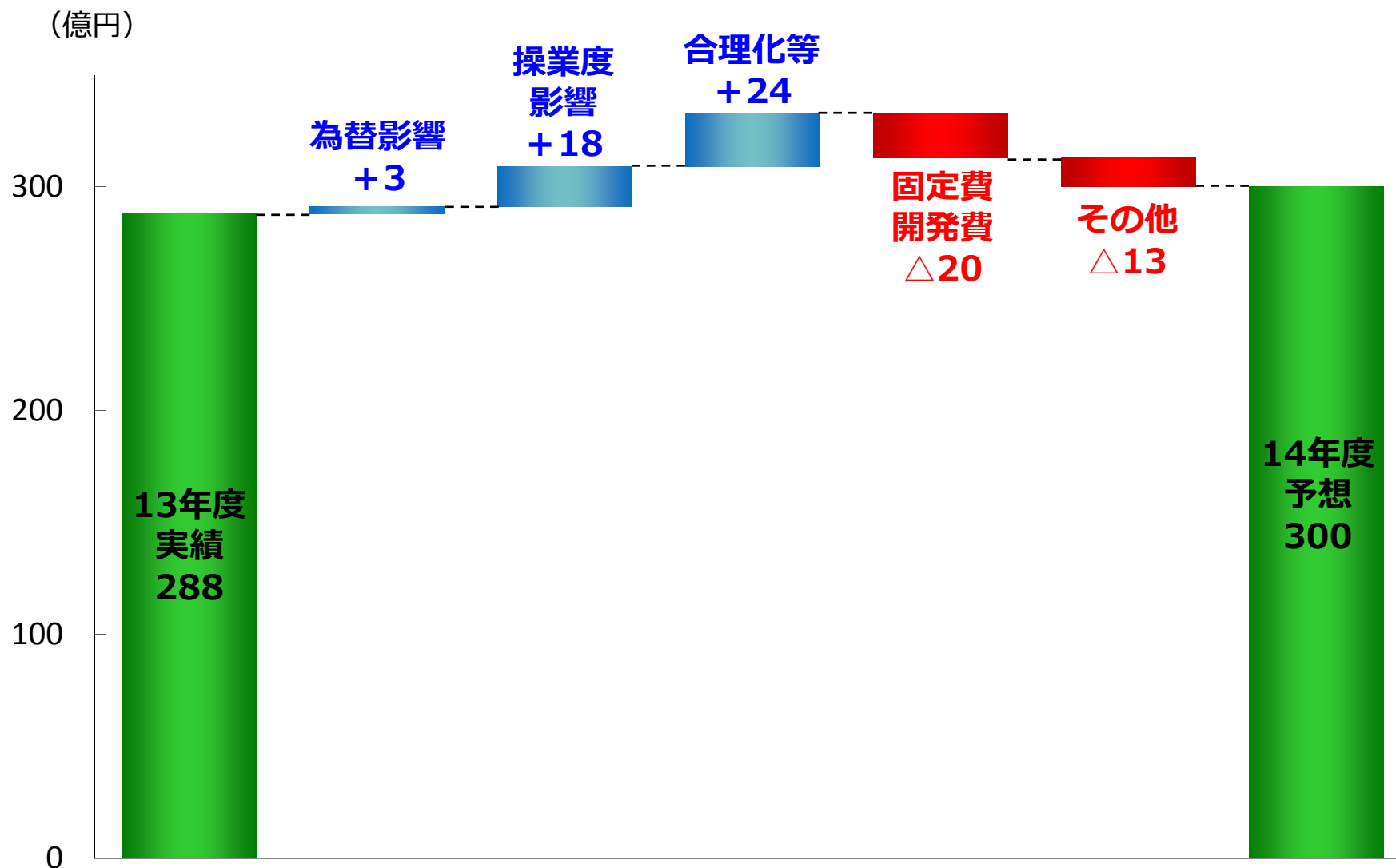
(注) 会計制度の変更により前年度の数字は遡及して修正しております

為替レート ドル	100.2	100.0	△0.2
ユーロ	134.2	140.0	+5.8

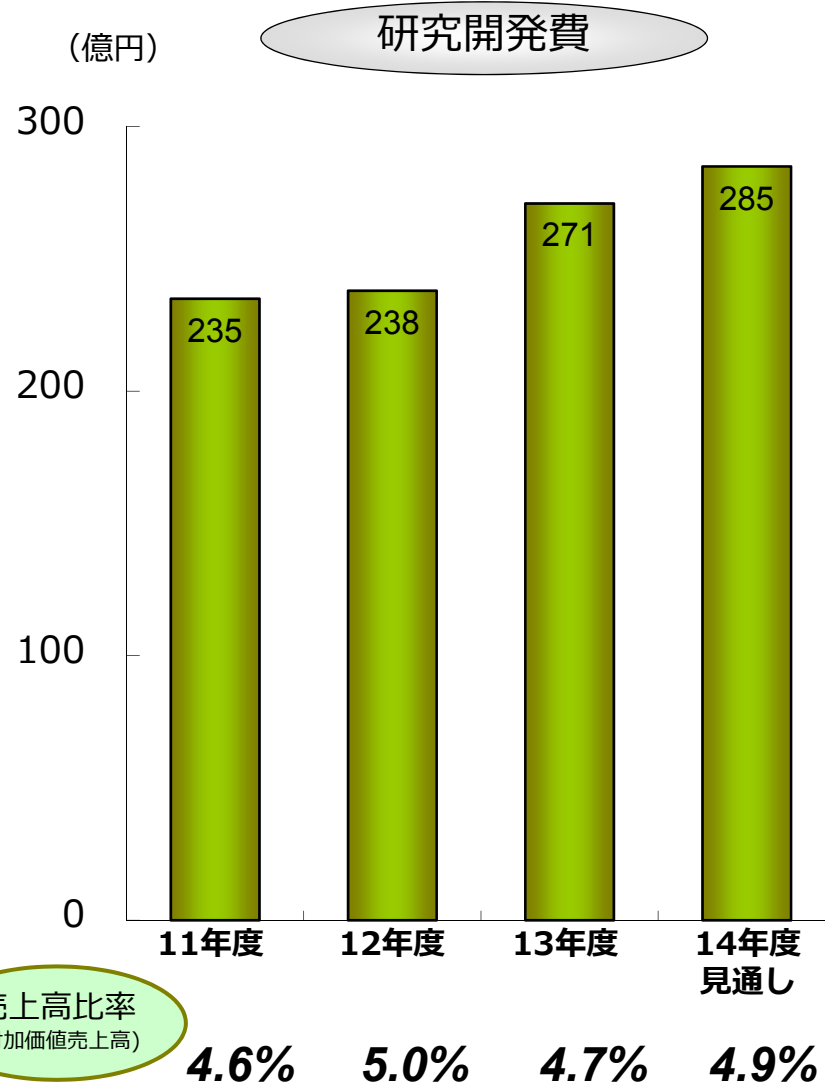
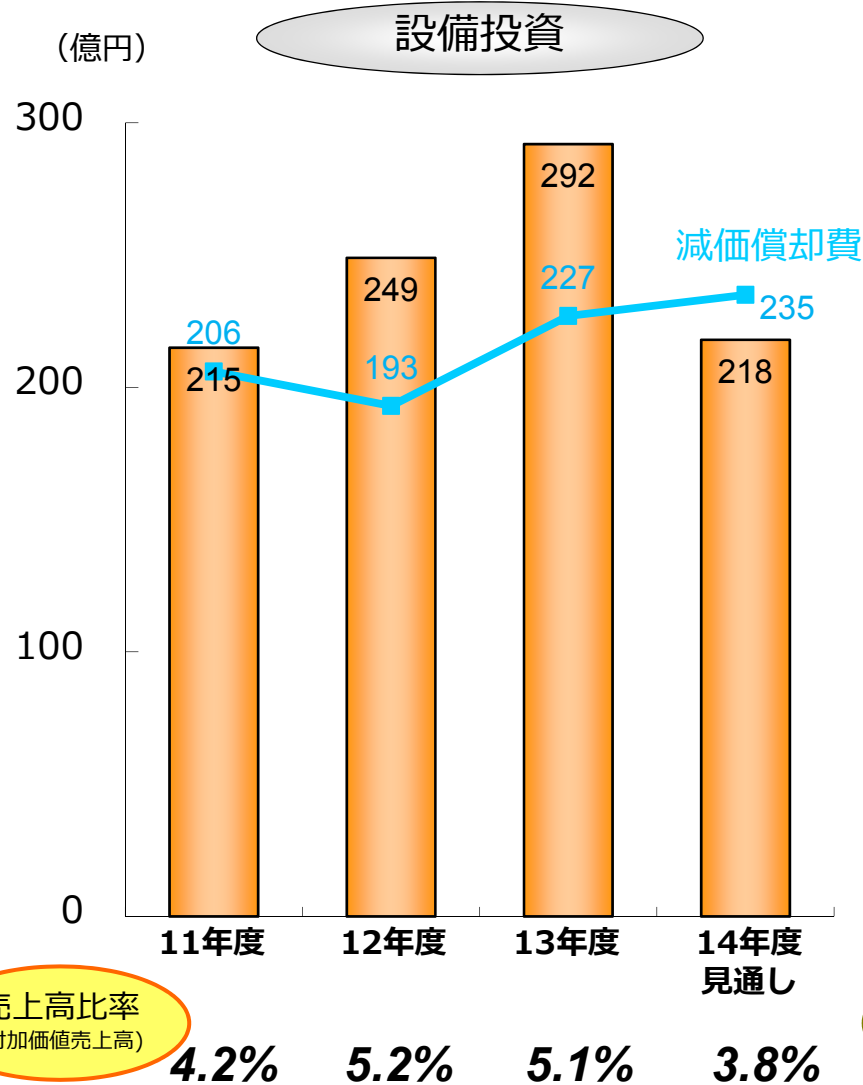
売上高推移 <地域別見通し>



営業利益 増減要因 <13年度-14年度予想>



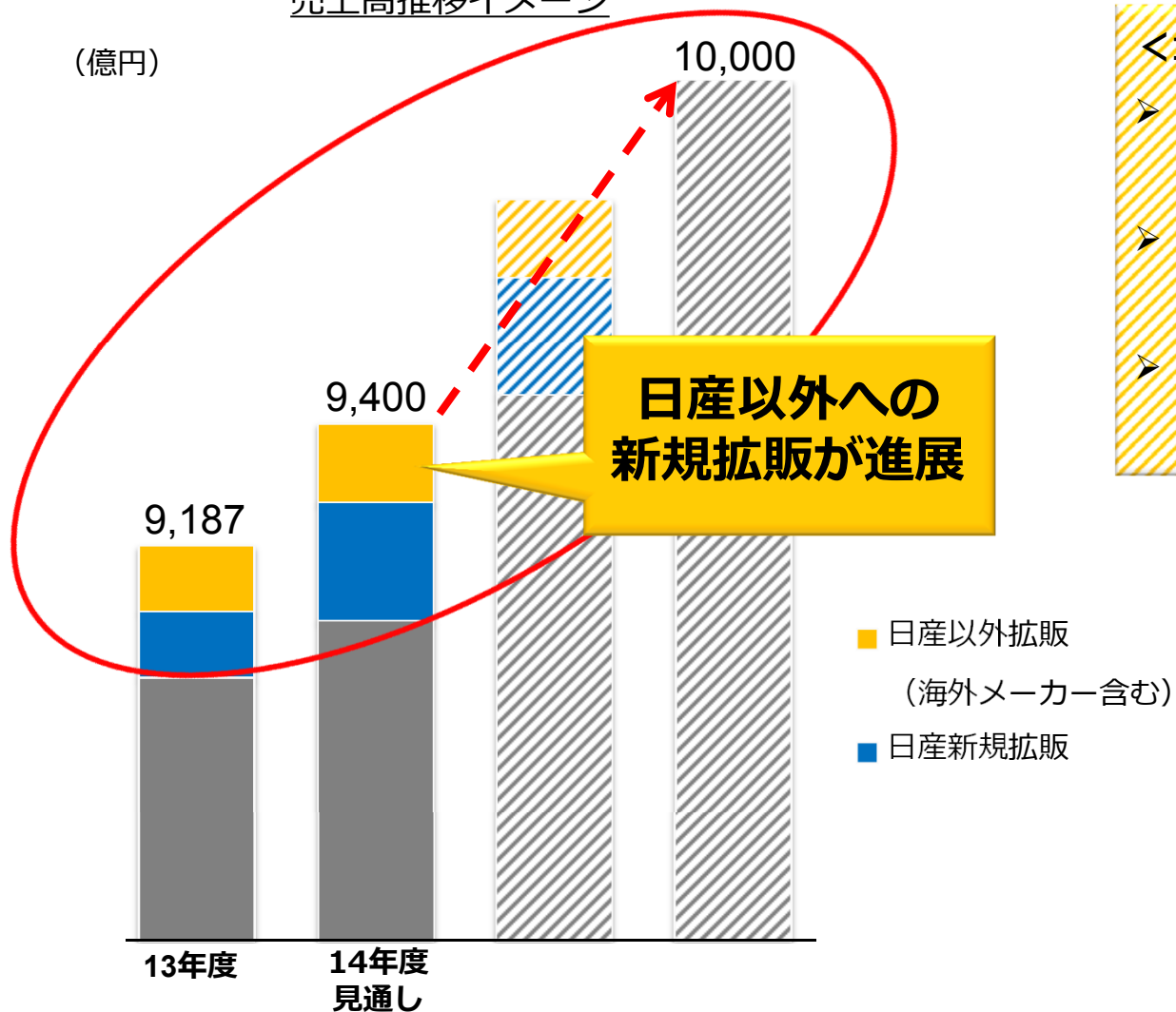
設備投資、減価償却費、研究開発費 <計画>



拡販の進展

売上高推移イメージ

(億円)



日産以外への
新規拡販が進展

<13年度 日産以外の主な新規受注>

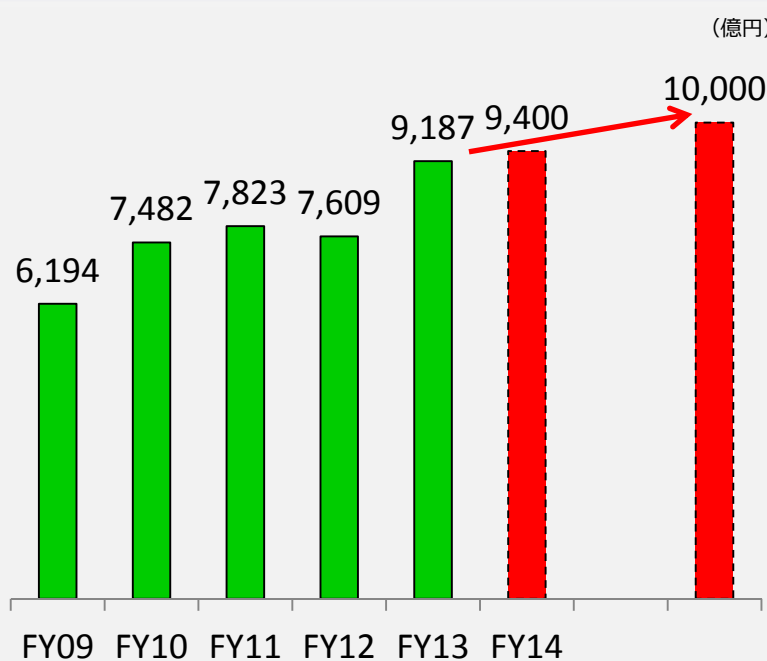
- 日系メーカー (グローバル車種)
電子製品
- 日系メーカー (グローバル車種)
コンプレッサ、熱交換器
- 欧州系メーカー
空調、排気、熱交換器

『CK G×4 T10』達成に向け順調に拡販が進む

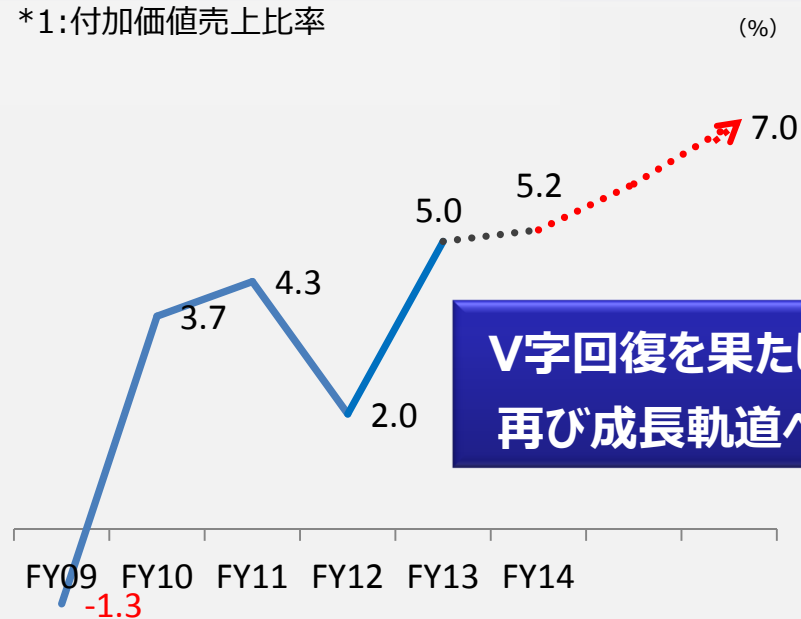
CK GX4 T10

売上高Globalトップ10(1兆円以上)

営業利益Globalトップ10(7%レベル*1)



*1:付加価値売上比率



V字回復を果たし
再び成長軌道へ



- 本資料に記載されているカルソニックカンセイ（株）の計画、戦略、意見等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、経済情勢、市場の動向、為替の動向等重要な要素の変動により、見通しとは異なる結果もあり得ることもご承知おき下さい。
- 本資料に掲載されている事項は情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的としているものではありません。
- この資料の著作権はカルソニックカンセイ（株）に帰属しております。
無断転載・複製することを禁じます。